

新鶴子ダム流域の水田水温と気温・日照時間の関係（１９９４年）

早期警戒情報においては、気温・日照時間・降水量が冷害危険度地帯別に過去７日間の移動平均で示されています。これらのデータと水田水温（午前９時測定）との関係を整理してみました。新鶴子ダム流域にもっとも近い監視地点アメダス尾花沢を使用しました。

１９９４年度は水温測定が週２日であるため、水温に関しては過去７日間の移動平均値を計算できないため、週２日のデータをそのまま使用して関係を図示することにします。

１）日最高気温と水田水温の関係（図１参照）

水温データが少ないために、全体の傾向を読むことはできません。最高気温が２５度を超えたのは７月６日。

水温（度）・日照時間

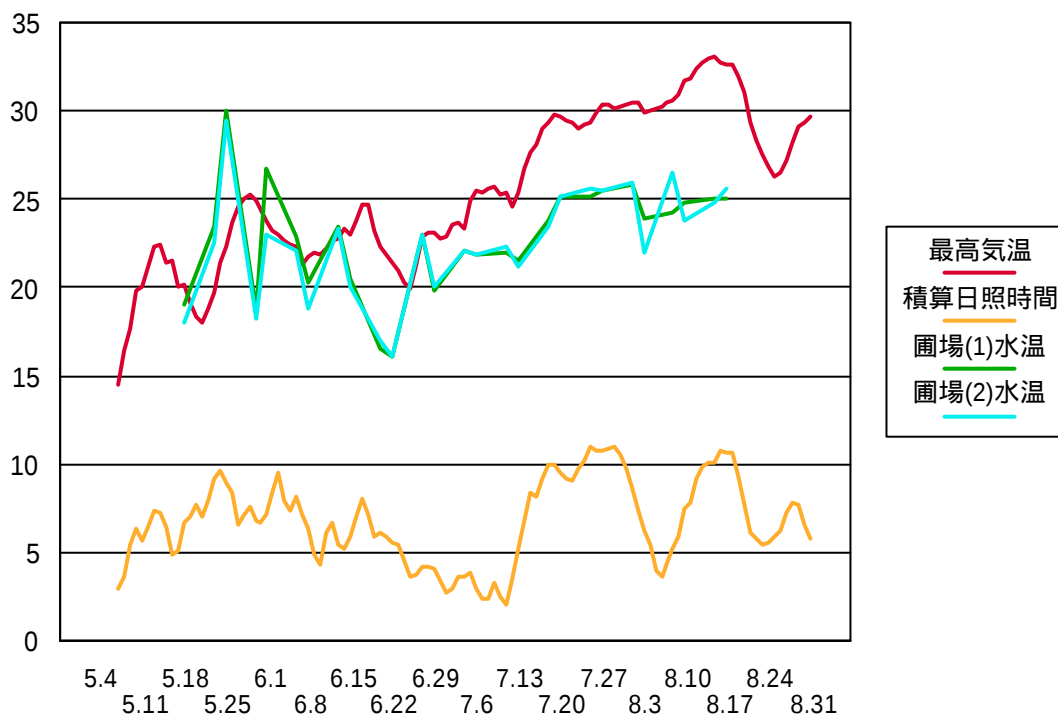


図１ アメダス尾花沢の最高気温と水田水温（午前９時）の推移
１９９４年度
過去７日間の移動平均

２）日最低気温と水田水温の関係（図２参照）

水温データが少ないために、全体の傾向を読むことはできません。最低気温が１７度を超えたのは７月１日。

水温（度）・日照時間

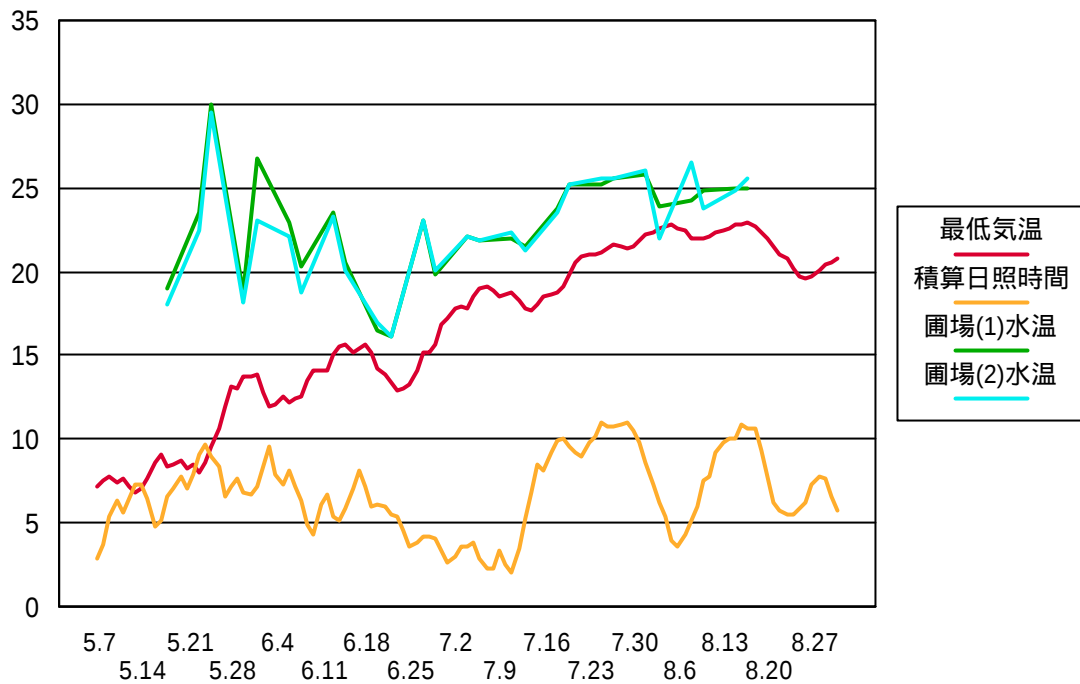


図2 アメダス尾花沢の最低気温と水田水温(午前9時)の推移
1994年度
過去7日間の移動平均

3) 日平均気温と水田水温の関係(図3参照)

水温データが少ないために、全体の傾向を読むことはできません。平均気温が20度を超えたのは7月2日。

水温（度）・日照時間

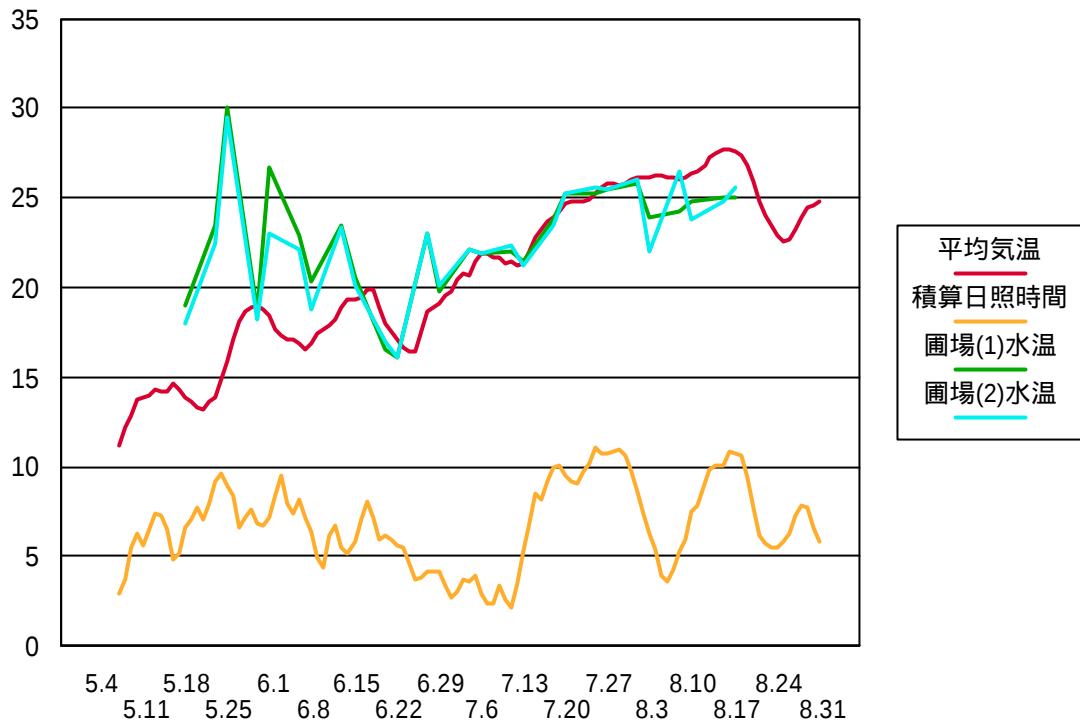


図3 アメダス尾花沢の平均気温と水田水温 (午前 9時)の推移
1994年度
過去 7 日間の移動平均